

ネットワーク天間

てんまーる
「てんまーる」
編集発行
天間地区まちづくり協議会
天間地区の人口
男 3,156人
女 3,266人
計 6,422人
(2,963世帯)
令和6年10月1日現在

天間青空健康 スポーツフェスタ

10月6日（日）初秋の青空の下、地区住民が集う「天間青空健康スポーツフェスタ」を開催しました。従来実施してきた体育祭の装いを新たに、人と人のつながりを重んじたイベントでした。



老若男女を問わず400余名のみなさまが十種目のゲームに興じ、汗を流して健康増進に励みました。また会場内のマルシェに参加した店舗とコラボレーションし、美味しい食べ物や飲み物に舌鼓を打ってもらいなど、参加者に非日常を体験していただきました。コロナ禍の心配事も耳にすることなくようやく以前のような日常が戻ってきました。



このイベントは生涯学習推進会が中心となり企画し、天間小6年生による地域の歴史文化の発信や富士市の健康増進コーナーの賑わい、天間小PTAの有志および鷹岡中の生徒ボランティアに支えられ、まさにオール天間のイベントとして天間の未来の青空が広がった地区最大級の事業となりました。

健康文化部部长 山崎 篤

夏休み子ども教室 夏チャレ

8月24日（土）に民生児童委員、天満宮氏子総代会、天間小PTAのご協力により、みんなで夏祭りを手作りしようという夏休み子ども教室夏チャレに67名の子どもが参加しました。

雨の中での開催でまちづくりセンター多目的ホールでの遊びになりましたが、緑日風の射的と輪投げ、ボールすくい、魚釣りゲーム、スイカ割り



りゲームと各コーナーの準備、運営を行いながら遊びを楽しみ、またスイカやかき氷も食べました。

割り箸とゴムで作る射的の鉄砲作りでは、苦戦している様子も伺えましたが、中学生ボランティアのお兄さんお手伝いをしてくれて、上手に作れたと子ども達の笑顔が溢れた一日となりました。また、店員さんの大変さが分かったと社会勉強もできたと感じました。

夏休み子ども教室は昨年度から、夏休みの思い出と居場所作り、地域住民の交流を目的に始めています。このような子ども達の笑顔が溢れる活動を続けていきたいと思います。今後ともご理解ご協力をお願いします。

子ども育成部部长 橋本 剛



住民福祉講座 『地域を元気にする 座談会』

毎年恒例の住民福祉講座を7月24日（水）に開催し、46名の方に参加いただきました。第1部は長泉町社会福祉協議会の渡邊麻由さんに能登半島災害支援で見た日頃のつながりの大切さを自らの体験を通して講演いただきました。

第2部は富士宮商店街連盟会長の増田恭子さんによる、富士宮駅前商店街のおかみさん達と立ち上げた毎月16日に地場産品や手作り総菜を並べて、大勢の人達が集うイベント（十六市）での地域活性化に関する講演、福祉推進会前会長の望月廣一さんから10年間の福祉活動を通じた天間への想いと経験談の発表がありました。天間を笑顔の絶えないまちにしたいとの思いを聞く事ができました。

第3部では講演者同士のトーク

クセツションも実施しました。3人のトークには地域を良くするためのヒントが溢れていました。

福祉推進会会長 池田 澄生



行政懇談会

8月27日（火）に天間地区行政懇談会を開催しました。富士市から小長井市長・森田副市長らを招き、まちづくり

協議会として地区の課題や要望等を直接伝えました。**令和6年度課題・要望事項**「天間小学校に通じる天間歩道橋の修繕工事の実施について」
「消防団員、民生児童委員、保護司等の人材登用に向けた制度の制定について」



第34回天間地区 七五三奉納 相撲大会

今年は、朝に雨が降り、天候が心配されていました。前日からてるてる坊主を作った子供たちの気持ちを通じ、無事開催できたこと、悪天候の中で準備を進めてくださった地域の皆様に厚くお礼申し上げます。



子供たちは、繰り返し相撲



子供たちは、繰り返し相撲を取る中で、勝つ喜び、負ける悔しさを味わいます。気持ちのわかるからか、友達に対して「頑張っていたよ」「惜しかったね」と励ましの声を掛け合う姿が見られました。体験した感情が、子ども自身を育て、相手を思いやる気持ちにつながります。また、力の入れ方も様になってきました。そんな年長児を見ている年下クラスの子どもたちが憧れを持ち、自分たちもやりたいという気持ちを持ちます。

天間幼稚園園長
市川 里江子

賞5(悟)の 米づくり

私は、天間つ子田んぼで作業した時に、心に残ったことが二つあります。

一つ目は、高学年で力を合わせて作業をしたことです。田植えでは、私たちの担当の作業が終わらずに六年生に助けてもらいました。自分たちの力で終わらせなかったのに、悔しい気持ちもありました。しかし、(自分たちで考えて行動ができてかっこいいな。私たちもあんなリーダーになりたい。)と思えました。

二つ目は、笑顔で仕事をすることです。最初のころは、



疲れてマイナス言葉を言ってしまうていたのですが、作業を進めていくうちに、自然と言わなくなりました。それは、仲間と声を掛け合って大変でもはげまし合えたからだと思います。だんだん、あこがれの高学年に近づいているのか

天間小学校5年
久保 初彩

第9回天間地区 歴史文化講演会

11月9日(土)に歴史文化講演会を開催しました。第1部は、幕末から明治にかけてわずか3年だけ存在した静岡藩について、静岡市歴史博物館学芸課長の廣田氏に講演いただきました。

第2部は、いずれも郷土出身である、フルートアンサンブル「ふるり」と賛助出演の音楽家2名によるコンサートを実施しました。今年はパーカッションの音色が加わり、より迫力のある演奏になっていました。演奏された曲の作曲家を当てるクイズでは幼稚園児も正解するなど、幅広い年代が楽しいひと時を過ごしました。



天間親水公園 清掃美化

9月29日(日)に天間親水公園の清掃美化活動を行いました。協議会では天間親水公園と天間沢遺跡公園の清掃美化活動を年2回ずつ実施しています。今回は50人の住民の皆さんに参加いただき、広場や遊歩道脇の草刈りなどを行いました。いつもご協力いた



編集後記

みなさんは今年、どのような地域行事に参加されましたでしょうか?コロナ後は様々な催しものが主催者の方々が試行錯誤し形を変えて開催さ

れています。参加できなかった行事もInstagramでぜひ確認してみてください。地域行事を通じ地域のみなさんが顔見知りになれる機会が増えればよいなあと思います。

編集長 高橋 由紀

市民安全大会標語コンクール 審査結果

10月20日(日)に実施予定であった天間地区市民安全大会は中止となりましたが、天間小学校の全児童と天間地区在住の鷹岡中学校1年生を対象とした標語コンクールを実施しました。厳正な審査の結果、入賞作品が決まりましたのでお知らせします。

【小学生の部】

- 金賞 6年 増田 実羽
周り見ず ふみ出す一步 命取り
- 銀賞 6年 武井 桃奏
もう一度 家族で確認 ひなん場所
- 銅賞 3年 井出あまね
ただいまと あなたのえがおに ほつとする
- 佳作 1年 和智 風磨
よくみてね いっぱいのぼした ちいさなて
- 佳作 1年 水越 湊大
あいさつで えがおひろがる てんまつこ
- 佳作 3年 天野 斗真
みなおそう そなえてあんしん ひじょうしよく

【中学生の部】

- 金賞 1年 今澤 健
日ごろから 備えて守る まちづくり
- 銀賞 1年 清 彩
自転車だつて 小さな車 歩行者優先
- 銅賞 1年 市川 優獅
まあいいや 少しのゆるみが 事故のもと
- 佳作 1年 荻 明花
運転中 スマホ見るな 前を見る
- 佳作 1年 堀水 龍我
右左右 この三秒で 守れる命
- 佳作 1年 藤田龍太郎
安心・安全・安泰の 笑顔広がる てんま地区